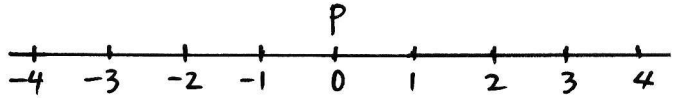
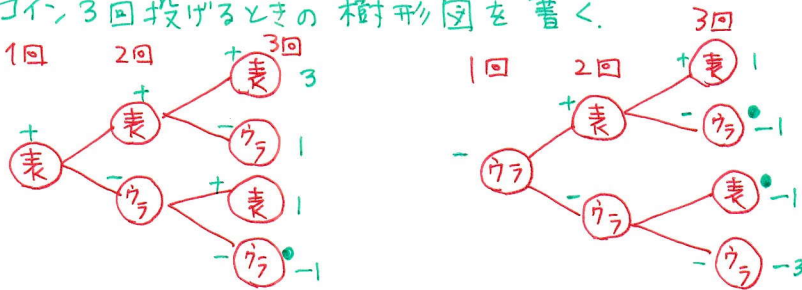


(例題) 数直線上の原点 0 に動く点 P がいる。コインを投げて、表が出たら正の方向に 1、裏が出たら負の方向に 1 進む。コインを 3 回投げる時、点 P が最後に -1 にいる確率を求めなさい。



コイン 3 回投げる時の樹形図を書く。



全部で 8 通りあるとわかった (分母) $\frac{\quad}{8}$

分子は「1つずつ」チェックしていく。表 → 正の方向 + にいく。
裏 → 負の方向 - にいく

例えば 表 — 表 — 表 のパターンなら +3
+ + +

表 — 表 — 裏 のパターンなら +1
+ + -

表 — 裏 — 表 のパターンなら +1
+ - +

表 — 裏 — 裏 のパターンなら -1 というふうに...

すると -1 になるのは ● 印の 3 つになったから

$$\frac{3}{8}$$